（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	持続可能な社会への貢献と将来の周遊観光振興のためのクロスメディア展開ＤＸ
事業主体 （連絡先）	安曇野スタイルネットワーク 連絡先 Email： azuminostyle.nw@gmail.com
事業区分	主となる区分　(6)　産業振興：雇用拡大に関する事業
	関連する区分　(8)　その他地域の元気を生み出す地域づくりに関する事業
重点テーマ	（５）中部山岳エリアにおける広域的な観光振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,180,000　円（うち支援金：　944,000 円）

事 業 内 容

安曇野の素晴らしさ、魅力を伝えるためのイベント「安曇野スタイル　第 19 回」を初回 2004 年 11 月（文化の日）に数日間毎年開催している。(2024 年 11 月 1 日(金)～4 日（月・祝)）安曇野地域の閑散期の活性化のため、コロナ禍で減少した観光客の呼び水になるための勉強会、イベントを開催して周遊型観光を実施した。

【上映会 WS の様子（11／2)】

事 業 効 果

① 支援金を活用して、コロナ禍に落ち込んだ周遊型観光の安曇野スタイル延べ来場者数を、新聞・ラジオ等の取材など広報活動によって集客力を強化した。昨年度比 7%増加の 19,214 名の来場者数となった。（目標値：10%増加 20,140 名を見込んだが 11/2（土）の大雨（天候不良）に影響を受けたがほかの日程は良好であった）

② ホームページのべ閲覧数は 1,710 回（前年度比 27%増）※目標値：10%アップ 1,487 回／SNS フォロワー数は前年度比 55%強増加の 3,684 名（Facebook／インスタグラム）目標値：10%アップ 2,581 名から大幅にアップ。

③ 来場者は、出展者の工房を廻り周遊観光の広いエリアで、作品の購入、近隣での外食、また県外からの多くの来場者の宿泊等、大きな経済効果をもたらしている。

【目標・ねらい】

① 魅力ある周遊観光振興
② ガイドブックコンテンツの DX 化
③ 観光客・関係人口の増加
④ 活動のブランド力アップ

※自己評価【　B　】

【理由】
SNS（インスタグラム）など告知活動を行い出展者・参加者ともに増加した。コロナ禍前の来場者数を目標とし、昨年度より 7%増加し緩やかに回復している。

今後の取り組み

2004 年から続けてきた、地図を片手にガイドブックを持ちながら出展者の工房を回る周遊型観光を続けることは、安曇野地域の自然や食や暮らしを楽しめる、地域全体を巻き込んだ有意義な観光振興に大きく寄与している。時代の流れとともに SDGs 等のサスティナブルな社会や、人々の休暇の多様化などが進み、デジタル化で代替できることは DX 化を進め、多様なクロスメディアを利用したガイドブック制作をおこなうことは、これからの周遊観光のモデルになる取組である。来年度は、多様化されたイベントの中で、ブランド力の一つとして引き続き持続可能な社会への貢献できる活動や、新たにインバウンドに備えたデジタルコンテンツを充実させて、魅力ある周遊観光を展開したい。